

韓流ブームに学ぶ儒教の教え

JJ1SXA 池

大分以前からの事ですが、韓流ブームとやらで、韓国映画、韓国の俳優・女優が大人気、暇とお金の有るお婆様たち？のフィーバーぶりは、すさまじいものがあるような？ツアー人気もあり、すごいさまで、領土問題や経済水域での漁船問題等でギクシャクの国交関係もどこへやらですが、韓国映画に学ぶところも多々あります。

韓国社会の現実は知りませんが、ドラマの中に見る親子関係を含め目上の人への接し方等を見ても、日本人が失ってしまった良き思想、良き道德の慣習をまざまざと見せ付けられるようです、基底にあるのは中国から伝わった儒教の思想でしょうか。

特に父親の威厳と責任感、それに従う子供、例え反抗しても、親を親とも思わないような態度は決してとっていません。

儒教の元祖である孔子は現中国の春秋時代の人ですが、実質的には戦国の時代を生きたとあまり変わらないようです、孔子の目から見れば、古い時代の素晴らしい道德や秩序が崩れている時代になっている、これを立て直すためにはどうしたら良いか、どうすれば平和な社会を作ることができるかと考え、家族道德の秩序、誰でも自分の父母に対しては素直な気持ちで従うことができる、家庭の中では秩序がある、この家族道德を社会全体に広めることによって、世の秩序を回復しようとしたわけです。

子供が親に対して持つ敬愛の気持ちを孔子は「孝」と名付け、この「孝」の気持ちを他人にまで広げたものを「仁」とし、この「仁」が孔子の考えの中心です。

明治時代くらいまでは儒教の教えは日本でも道德の基本だったから、仁といえば昔の人はハッキリとしたイメージが持てた筈ですが、そういう伝統は今ではすっかり消えてしまった現代、「仁」などという言葉は理解しにくいですね。

孔子は「仁」が大事だというわけですが、いくら心の中で「仁」の気持ちを持っていても、それを外に形として表現しなければ意味がない、これを目に見える形で表現する、その表現が「礼」であり、「礼」とは何か？例えば学校などの授業の始めと終わりに、「起立」、「礼」とやれば、皆は心の中でどう思っているか別にして、「礼」と号令がかかればお辞儀をします、正しくこれが孔子のいう「礼」です。

心の中で、よろしく願いますとか、ありがとうございました、と思っけていても表現しなければ相手に伝わらない、伝わらなければ意味がないし、何も変わらない、だから、頭を下げる「礼」をすることによってその気持ちを教師に伝えているわけです。

頭を下げる以外にも、いろいろな形で「仁」という思いやりの気持ちを「礼」で形に表すことの重要性を孔子は説いているのです、人々が「礼」を実践することによって失われてしまった秩序が回復できる、と考えたようです。

何よりも秩序の回復維持ということが基本にあるので、支配者にとっては都合の良

い思想だったようで、この儒家の教えはその後長く支配者たちに保護されて中国思想の柱となっていたようです。

論語の中の一部、「巧言令色(こうげんれいしよく)少なし仁」・・・これは、顔がきれいで口が上手なやつに思いやりのあるやつは少ない」ということです。

他にも「義を見てせざるは勇なきなり」・・・正しいことが行われているのに何もせず黙って見ているだけというのは勇気がないということです。

「朝(あした)に道を聞かば、夕べに死すとも可なり」・・・朝、正しい生き方を知ることができたならばその日の夕方に死んでも思い残すことはないという意味。

こんな言葉を聞くと、こちらの人生観に迫りくるものがありますが、さりとて今更論語を全文読もうと言う気にはなりません、まあ読んでも良く分からないことが多いことでしよう、せいぜいダイジェストの解説本あたりが合っています。

アマテラスオウミノカミやらオシャカサマにキリスト、果てはアラーノカミ等々、沢山の神様やら、仏様が混在し、自分に都合の良いとこどりの自由主義の蔓延った現在の日本の行く末はどうなるのでしょうか。

世界的にも天災地変の多いこの頃、後数十年あるいは数年の私の生きている間だけは、大変な事がこの身の周りに起きないようにと自分勝手に考え、普段は無信心ながら、こんな事を考えた時だけは神様、仏様どうぞよろしくお頼みしますで、これも「礼」で表さなければいけないのでしょうか、心の中だけの呟き、駄目ですね。

ともあれ、「孝」や「仁」そして「礼」という考え・思想、それが韓国ドラマの随所に見えています、日本人も改めて、この儒教の思想を見直すべきでは無いかと思います。

道德教育というと、私などは、修身とか教育勅語などというのが頭に浮かびます(古いなあ、年寄りだなあ・・・と言う言葉が返ってきそう)、そしてそれは、一般世間では悪い意味にもつながりかねません。

道德教育を学校の授業に必要な否かなどという議論は、文科省のお役人と、かの有名な教職員の組合にお任せしますが、君が代斉唱がどうの、日の丸掲揚がこうのなどと言う議論の前にもっと真剣に考えてもらいたいものです。

道德教育は、家庭でも学校でも社会全体としてでも必要なことでは無いかと思いませんし、古き時代の良さを取り戻すべく私達も努力の必要がありそうです。

「道德」という言葉を大辞林で調べたら、「ある社会で、人々がそれによって善悪・正邪を判断し、正しく行為するための規範の総体。法律と違い外的強制力としてではなく、個々人の内面的原理として働くものをいい、また宗教と異なって、超越者との関係ではなく人間相互の関係を規定するもの」と載っていました。

英語の「マナー」は、仕方・やり方・態度の他、行儀・作法・風習といった意味のようです、マナーが良いとか、悪いとか、全て道徳心につながるものです、となれば、道徳ということをもっと見直し、身につけるべく心がけなければいけないと思う次第です。